

学生海外派遣プログラム実施報告書

所属：創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻 2 年

氏名：吉田 彩香

派遣期間：2019 年 3 月 12 日～2019 年 3 月 20 日

派遣先：台湾師範大学

2019 年 3 月 12 日～2019 年 3 月 20 日、台湾において台湾師範大学のスプリングプログラムに参加しました。私は、海外への留学はもちろん、海外へ行くことすら初めての経験であり、大変貴重な時間を過ごすことができました。今回の留学をサポートしてくださった山口大学のみなさま、またプログラムを主催してくださった台湾師範大学理学部のみなさまに心より感謝申し上げます。

このプログラムでは、科学全般における講義や実験、野外活動が行われました。以下にプログラム全体のスケジュールをしめします。

日程	内容
3/12	出国～オリエンテーション
3/13	講義（数学）、実験（化学）
3/14	講義、実験（生物学）
3/15	台北観光
3/16	フィールドワーク（地学）
3/17	フィールドワーク（地学）
3/18	フィールドワーク（地学）
3/19	講義（情報科学）、プレゼンテーション
3/20	帰国

プログラム初日は、英語で受ける講義は理解できるのか不安を抱えていました。しかし、講義をしてくださる先生方はわからないことがあると、理解できるまで何度でも説明してくださいました。また、講義としては学部 1 年生から参加できることもあり難易度は高いものではありませんでした。しかし、専門とは異なる分野の講義を受けることができ、とても刺激を受けました。多くが体験型の講義であり、自ら考えて手を動かすことや意見を求められる機会が多く、自主性が伸びるものであったと感じました。

野外活動や実験は、台湾師範大学の TA の方がサポートしてくださいました。生物の実験では実際にゼブラフィッシュの習性を検証や、卵の観察などを行いました。また、生物学の講義の中で台北市内の公園を散策する機会がありました。そこでは多くの鳥や台湾リスなどが生息しており、日本では見ることのできない動物や植物などの観察を行うことができました。台中でのフィールドワークは主に台湾の地形と地震について学ぶことができま

した。実際の断層や地震で崩壊した学校を間近で見学することができました。断層については、その大きさや高さを測定し、文献値と比較して考察するという課題が出されました。最終日にグループでこの結果について発表する時間があり、英語でのプレゼンの作り方や発表のスキルが向上したと思います。

このプログラムの期間中の生活は、台湾師範大学の TA の方々がサポートしてくださいました。初めての海外で不安なことも多くありましたが、TA の方々が食事のサポートや観光の案内をしてくださいました。台湾の人々は親切な方が多く、たくさん話しかけてくださいました。その中で、台湾での慣習や、食文化など様々なことを教えてくださり、異文化への理解を深めることができました。そして、たくさん会話をすることで英語でのコミュニケーション能力も高めることができましたと思います。

今回は、台湾師範大学でのスプリングプログラムにて貴重な経験をたくさんさせていただくことができました。理学部のサポートがなければ、海外を経験しないまま学生生活を終えていたかもしれません。是非、みなさんもこのような機会を利用し、海外を体感することで視野を広げてみてほしいと思います。

